

その時、ゴトゴト・ゴリゴリのすこい家の  
 軋み、天井が下り下りた電灯の大きな揺れに自  
 然の力の恐怖を覚えまじた。二十年前に他界  
 した両親が健在の時かろ、老朽化してまため  
 が家の小丈い店を改築し直ればいけないと  
 言っていて、一月十六日に住居といり、その  
 直りていする店の部分を解体する予定であつた  
 のに、連絡もなく仕事にかかりてくぬがいう  
 いう、一丁いきました。ところが、17阪神・  
 淡路大地震が起り、この地では震度5度で

したが、被害うしいことはありませんでした  
 。もし前日に店舗の部分を解体していたら、  
 いれだけ被害があつたことか、今でも振りか  
 ぶっています。震度7度もあつた阪神や淡路  
 の方々は、自分自身の心に深い傷を受けその  
 上に家族のこと、家屋崩壊など私たちに想像  
 しがたない苦しみを負っていることだと思ひ  
 ます。でも、人はそれぞれ形はちがつても、  
 いろいろな苦痛があるのだと解釈されてこ  
 れか、りも乗り越えて下さるよう願っています。

徳島県名東郡  
 日下早苗 56才

# 「1.17メッセージ」応募用紙

忘れることは出来ません！

あの日朝テレビをつけると高速道路が倒れている画像が目に入りました。

まさかと思いましたが、現実でした。

私は、その日東京の六本木の高速道路隣で研修があり、その場所に行く際に神戸のあのシーンを思い出し恐怖を覚えました。

神戸・新潟と大きな地震が続き、日本全国、今日の今地震が起こっても、不思議ではありません。

残された我々は、その時の尊い犠牲者の冥福をお祈りするとともにその教訓を生かし将来に備えることを改めて、決意しました。

(お名前) 幡谷 博司

(年齢) 49

(ご住所) 徳島 都道府県 徳島 市・郡

# 「1.17メッセージ」応募用紙

あの日、亡くなったのは徳島にいた友人の母親でした。私達は、信楽にいて、遠く離れておりました。テレビに映る、すさまじい光景は現実とは思えず、とまどうばかりの、弱い私がいました。信楽から電話で安否を確かめる何人もの仲間たち…。はじめに泣きくずれたのは祖母を失った20代の女の子でした。一晩中、よりそう友がいて、彼女は泣きじゃくっていました。その肩を抱きはげまし、ずっと側に居た子は高知出身の女の子で、彼女の強さを、そのときハジメテ知りました。騒然とした日々が過ぎ、地震とは直接は関係なくスズミさんの死を知るのです。その友は、一昨年は奥兄を東京で交通事故でなくしていました。そして翌年1.17が奥母の命日に。おどろいたことに、彼女は決して涙を見せませんでした。なぐさめの言葉に困り、彼女の心を察することの難しい、なさけない自分がいました。「なんで泣かないのダロウ？」その答えは、2年前、父が末期ガンで帰郷したときに、実感できました。「泣かないのは、泣けないくらい、せっぱ詰まって、いっしょけんめいだったから」泣くことも出来ず、必死で父のそばをすすめねばならず、18のとき、母と離婚しているのに、何ぞ？と、苦しみながらも、私も泣けない日々をすごしました。その友の支えで生きております。ひとの痛みをわがらせていただけで嬉しく思うのです。

(お名前) <sup>もり ひとみ</sup> 森 一未

(年齢) 37

(ご住所) 徳島 都道府県 徳島 市・郡

# 「1.17メッセージ」応募用紙

10年前の1月17日 早朝、店の連休でアウトした私は、R-1という  
音とその後夕方の夕焼けにどわかに気づいた。経験したことが、地震の中  
でした。その後夕焼け二日 テレビにて 2週間ほど 報道中も様子を見て  
どわかに 暗闇の気持ちにどわかに気づいた。神戸は10年前を復興し  
ました外、人の心の中を同じように忘れずにしつと、  
そして 夢をみるかたにしたいです。

(お名前) <sup>カネト</sup> 吉村 和樹

(年齢) 45

(ご住所) 徳島 都道府県 徳島 (市・郡)

# 「1.17メッセージ」応募用紙

10年前のあの~~出来事~~出来事がある、だからみんなの気持ちが一つになり、今のまた新しい街かできてあがっている事に感重みます。そのまの気持ちを大カにしてがんばって下さい。~~千佳~~

~~千佳~~

(お名前) 柏木 千佳

(年齢) 30

(ご住所) 徳島 都道府県 板野 市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

あの時の気持ちを忘れず、  
それをバネにがんばろう神戸！

(お名前) 江濱 泰宏

(年齢) 40才

(ご住所) 徳島 都道府県 小松島 市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

いつまでも  
忘れません!

(お名前) 三木 福夫 (年齢) 44

(ご住所) 徳島 都道府県 徳島 市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

元気になった神戸が未来へと続くように  
過去の出来事が決して悲しみだけで  
終わらないように  
心よりお祈りしています

(お名前) 滝本 さとみ

(年齢) 32

(ご住所) 徳島 都道府県 吉野川 市 郡



「1.17メッセージ」応募用紙

近未来の地震予測の報道が出る  
たびにあの日を思い出します。  
決して忘れない 忘れてはいけない日。  
その日を胸にきざんで 大切な事&気持ち  
をこれからも持続けて みんな一諸君  
ががんばって行きましょう。

(お名前)

佐藤 真次

(年齢)

53

(ご住所)

徳島 都道府県 徳島 市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

大切な人の事を忘れない大切な日

今年一日、時間を大切にかんばろう  
の

(お名前)

福永 孝子

(年齢)

28

(ご住所)

徳島

都道府県

徳島

市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

元気になった神戸が 未来へと 続くように  
過去の出来事が 決して 悲しみだけで  
終わらないように  
心より お祈りしています

(お名前) 滝本 さとみ

(年齢) 32

(ご住所) 徳島 都道府県) 吉野川 (市・郡)

# 「1.17メッセージ」応募用紙

今でもあの時のことが目に焼きつきます。

震災後、被災者の方の安否確認、ペットボトルを  
リョックに背負い、一件一件伺った時、  
無事で元気なお顔を拝見し、本当にホッとした思いが  
よみがえります。

あのような事は二度と起こらないことを

乞ひ、被災者の方が、これから、明るく、元気で  
健康でありますことをお祈りいたします。

徳島の地より、忘れず応援しています。

頑張れ神戸！！

(お名前) 杉本 哲也

(年齢) 38

(ご住所) 都道府県 徳島 市・郡

震災が見せた人間愛

時は平成七年一月十七日早朝、ぐらっと誰かに揺り動かされたようなショック、天井の電灯が右左に揺れている。地震だ。かなり大ききい何時だ五時前である。TVのスイッチを入れた、NHK大阪放送局のアナウンサーが「神戸を中心に震度六の地震があった震源地は淡路島北方の海底」と繰り返して放送していた。神戸と聞いただけで五十数年前に住んだ街並が過る(書き)。あの町あの人、旧友縁者等が走馬灯のように浮かんでは去る。余震に備えて身なりを整える、次々に映し出される神戸市街やがて各所に火災が起きている。暫く経って縁者の消息をと電話、通じないもう少し時間をおかないと先方だ。こんな時間待つこと数十分、ベルが鳴る、不吉な予感を持ちながら「芦屋の00だ、今大阪のホテルに避難している、家は倒壊を免れたが家具類は損壊それらライフラインが」「無事の知らせでホッとする。震災か

No.1

震災から暫く経ち宝塚の知人にやっと通じた

No. 2

一家は倒壊しなかったが家具什器はダメ家族は無事」と安心。宝塚大劇場も被害が大きいらしい、TVは著名の施設等避難民や交通状況を次々に放映している。かつての大戦で焦土と化した国際都市神戸の中に呆然と立ち尽くした当時の吾を重ね併せてあれから半世紀それこそ生きるためにがむしゃらに働き、瓦礫の中から板切れ一枚・石塊の一つ一つを積み重ねるようにして、誰に命令されるまでもなく復興の担い手として自らの力で立ち上がり震災前の神戸の基盤に立ち向かった若き日の吾を回想する。やがて未曾有の震災から十数年が経ち、人間極限状態の中での美しき人間愛を浮き彫りにした数々の報道に涙が：「夫婦共々柱やエアコンに押しつぶされ火と煙の死の恐怖の中で「夕焼けこやけ：」を歌い続けた人」「ペットの犬を励まし、励まされながら助け出された中年の奥さん」「自分は年寄りだから若い者にあげて：」と配られた

no.3

パンを差し出す老婆のすがすがしい顔。地震  
火災で焦土と化した家や押しつぶされ燻る瓦  
礫の山に向かって呆然自失の涙を流し無心に  
手を合わす女性、一方生まれる命は時期、所  
を選ばず極限の中で被災地からオギャーと産  
声が響き渡る。こんな人間の生と死の境を凝  
縮 ~~ぎ~~ ~~ま~~ ~~く~~ して見せられ知らされるとどんな  
不平不満もグチも吹っ飛んでしまい素直で敬  
虔 ~~ひ~~ ~~び~~ ~~な~~ な気持ちに……。多数の神戸の知人・  
友人の震災犠牲に謹んでご冥福を祈り併せて  
お見舞申し上げてから早十週年が経ち、一一  
七は忘れられない感無量であります。

高松市  
尾 <sup>び</sup> 藤 <sup>とう</sup>

久 <sup>ひさし</sup> 雄 <sup>を</sup>

八五歳

# 「1.17メッセージ」応募用紙

僕は、19歳の短大生ですが、誕生日が1月17日です。来年、節目の二十歳を迎えます。1月17日には、過去に湾岸戦争（1991年）米国・ロサンゼルス大地震（1994年）阪神大震災（1995年）と世界中で天災・人災が起きました。僕は、神戸とともに10年間、温かく見守り、震災後の3月にも神戸の町を見ましたし、その後もずっと見てきました。今年も新潟で地震に見舞われ、10年前の記憶がよみがえるのではと思い、来年1月17日に何か起きるのではと思うばかりです。神戸市の皆さん、10年経ちましたが、立派な神戸へと成長し風見鶏が飛べるようになればと心より願ってます。2005年には神戸空港が完成しますます国際化が進み、今後は震災の記録をしっかりと世界へ情報発信しなければなりません。最後になりましたが、震災で亡くなられた6500人の方へのご冥福をお祈りし、今後、神戸の発展を期待します。大好き、神戸！！

（お名前） 中村 優

（年齢） 19

（住所） 愛媛県伊予郡



阪神・淡路大震災10周年記念

# 「1.17メッセージ」応募用紙

この当時の事はまったく知りません。  
 今日いろいろな展示物を見てよく知りました。  
 想像以上のことでびっくりおどろきました。  
 私たちの住んでいる所も南海地震とい  
 うすごい地震がおこると怖れています。  
 今日この勉強したことを思い出し  
 役立てたいです。  
 日頃から地震にそなえておきたいと思いまわ

ふりがな お名前	たきもと りな 瀧本 里奈	年 齢	13才
ご住所	愛媛 都道府(県) 新居浜 (市) 郡		

阪神・淡路大震災10周年記念

# 「1.17メッセージ」応募用紙

~~このメッセージを  
お読みいただき  
ありがとうございます~~

もしも台風がきたら、もしも地震がきたら、  
かぞくを起こします。

かいてるおとけたいと、金と写真を  
もっています。

ふりがな お名前	中塚 未希	年齢	14 才
ご住所	愛媛県新居浜市	都道府県	市・郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

映像などを見てすごかったです。阪神南海地震をよさ  
 げ木しています。いつ、何時頃かすごかったです。怖い  
 ですよ。どうゆうふうにした方がいいかとすごく怖いです。阪神大  
 震災の時に地震を体験した人々を悲しい心で  
 その日②の思い出なのか私たちが体験から分  
 だくか分かったと思っ村。地震でタタ~~タタ~~の人が死  
 にました。みんなすごく大切だと思っました

ふりがな お名前	田坂 彩夏	年齢	14 才
ご住所	愛媛 都道府県 新居浜 市郡		

阪神・淡路大震災10周年記念

## 「1.17メッセージ」応募用紙

当時のことを見たりして、私は体験してないけど、その時のことがいろいろ分かりました。  
 すごくゆれていたし、家などはくずれて、人はたくさんなくなっていました。地震のあとは、火事にもなっていてすごく怖かったです。  
 これからも地震はおきると思うけど、いろいろと、たすけたいです。

ふりがな お名前	やまぐち 山口	ゆか 由佳	年齢	13才
ご住所	愛媛	都道府県	新居浜	市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

1.17メッセージ

あの阪神淡路大震災から、もう10年ですね。  
ぼくは、まだ2才だったのでおぼえていませんが  
阪神淡路大震災のVTRを見て、こゝろ  
に、兵庫県に、ひかいはおぼしたんだなと思  
いました。

でも、南海地震は、阪神淡路大震災よりも  
強い地震だと聞いて、もし南海地震がおきたら、  
たぶん死んでしまうかもしれません。  
でもぼくたちかかっているプロジェクトで、少しでも死者をへらせたさ……と思  
います。  
ぼくは修学旅行で長田区にいて、11日は、もうたてものとかは直っている  
けど阪神淡路大震災から少したっても、たてものとかは直っていな  
かると聞いて、ぼくは家のたてなおしとかをはやくしてほしいと  
思いました。

(お名前) 伊藤小慎司

(年齢) 12才

(ご住所) 愛媛県 西条市 郡

「1.17メッセージ」応募用紙

一九九四年、一月十七日の阪神淡路大震災が起きて十年たちましたね。でも、再び三十年以内に、阪神淡路大震災を大きく上回る、といわれている、南海大地震が来るといわれています。ぼく達は、そのために、今総合的な学習で地震のことを勉強しています。ぼく達は、地震の勉強していき、阪神淡路大震災の事が分かりました。それで死者の、77%が圧死ということがビデオを見て分かりました。阪神淡路大震災みたいに死者を出したくないと思います。そして地震対策の知恵集を作り一人でも多くの人に目力かってもらいたいと思います。

(お名前) 安部 建輝

(年齢) 12才

(ご住所) 愛知県 都道府県 西条 市 郡

「1.17メッセージ」応募用紙

わおれない大地震  
日本中をふるいたたせた、あの阪神あおじ大しん災から早十年  
がたちました。今だ、傷あとを残したままである。  
ぼくたちは、修学旅行で神戸をおとされ、あらためて土也  
震の怖さをしりました。地震も体験した、人たちとふれあい、  
人ごとではないと思いました。  
最近では、新潟県中越地震もあり地震がある度  
阪神あおじ大しん災を思い出します。いつ、どんな時に起  
きるかわからない自然現象とはいえ、人の命までうば  
われてしまう。できることなら地震がまきないことをいのりた。  
ぼくたちは、今地震について学んでいます。これから  
阪神あおじ大しん災の被害にあった人々のいたみを  
忘れることなく、地震について学習していきたいと  
おもいます。

(お名前) 田里子園音<sup>のちや</sup> 良矢

(年齢) 12才

(ご住所) 愛媛<sup>あま</sup> 都道府県 西条 市 郡

# 「1.17メッセージ」応募用紙

1.17メッセージ

阪神淡路各大大地震がおきて10年がたちました。10年たったいまも地震はつづいています。ほくたちが住んでいる愛媛県にも30年のあいたにすこい地震がくるとわかれています。そのときのためにほくたちは、総合的な学習をしています。そのために5月に神戸へ修学旅行に行きました。おなごたくへほんとうに地震にあつた人に質問してみるとまともなほくじかできたのは一週かんたってからそうです。三日たってほくじかできたのは、はうみ三がみきれのハロンの所だったそうです。ほかにも人とみらいほろこい、センターにもいってしょうほうをもらいました。阪神淡路各大大地震みたいに、またりかえさな、これまでにないようなよう、をしていりました。ほくは、地震のいしきがたかま、ていふんなな一とお思まひ。

(お名前) 佐藤 佐子

(年齢) 12

(ご住所) 愛媛県 西条市 郡



「1.17メッセージ」応募用紙

阪神淡路大震災をもちに

一月十七日、神戸市を中心とした大地震、

「阪神淡路大震災」が起き多くの人に被害がありました。

そして、この阪神大震災をもちに、小松小学校では、総合的な学習をはじめました。

学習内容は、いろいろなことを提案するチームを作り、近い将来「南海地震」「東海地震」

「東南海地震」という大きな地震がきこも

おこしても助かる確率が増えるかもしれないので、この学習をもちに社会に役立てて

いきたいと思っています。

(お名前) 秋山正典

(年齢) 12才

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 市・郡

# 「1.17メッセージ」応募用紙

1.17メッセージ

ぼくは、1月17日の阪神大震災の事は、忘れな  
いと思いました。

今の神戸市は、地震があったかどうかわからな  
くらい復興してきますが、あの頃の大きな地震  
の揺れで建築物などがくずれて、とても危ない  
中、よく逃げられたなと思いました。どうや、て逃げれ  
たのが、くわしく知りたいと思いました。

(お名前) 白里雄介

(年齢) 12

(ご住所) 愛媛

都道府県 西条 市 郡

# 「1.17メッセージ」応募用紙

ぼく達は今防災の学習で地震の勉強をしています。ぼくは阪神大震災みたいな地震がきたらひとまりもありません。しかもそんな地震がこの地域にくることが明らかになっています。

ぼく達は修学旅行で兵庫県の長田区に行ってきました。そしていろいろな話を聞きました。

阪神大震災に合った人はとても大変だと思いました。

直接震災に合った人達に聞くと「食べ物がのびに通らない。や消味期限切れのパンを食べていた。」などと不十分な生活をしていった人達が多かったです。もうこんな大変な人やきせい者を出さないようにしたいと思いました。だからぼく達はこうならたいようにだれにでも役立つ地震対策の知恵集を作てみんなに役立ててほしいと思います。そしてどんどん力を伸ばしてできるだけ多くの人に伝えたいと思います。

(お名前) 松木 秀平

(年齢) 12才

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 市 郡

「1.17メッセージ」応募用紙

阪神・淡路大震災から10年が経ちました。当時はまだ小さかたので地震が起きた時もおかまへんでした。地震が起きた時、こちらの方ではトイレの壁が少し割れただけでした。

その後学校の授業で地震の事をやり始めて、改めて阪神・淡路大震災の力を知りました。そして、地震は人を危険にする怖いものだと思いました。

大震災から10年経った後も地震のあとが残っている所もあるけれど、ほとんどあからないくらい戻っているので、10年もあればこれだけ元に戻るだなどおどろきました。

みなさん、これからも町の復興など、がんばってください。

(お名前) 眞鍋 良平

(年齢) 11才

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条市 郡

# 「1.17メッセージ」応募用紙

阪神淡路大震災にあつた方々へ

私達は、五月二十七日、二十八日に修学旅行で神戸へ行ってきました。

長田区、人と防災未来センター、嶋島断層へ行きました。この三つの所では、阪神淡路大震災のことがよく分かる資料がとてたくさんありました。

長田区で聞いた話や資料をもらったときや実際に断層を見たときは、本当に自分が思っていたよりもおもしろいのだと分かり、びっくりしました。

今、わたしたちは、「あなたにも役立つ地震対策の知恵集を提案します」というゴールをみんなで作成、プレゼンテーションにむけてい、しょうけんぬい地震のことを調べています。

わたしたちのグループでは、「身近かな物を作って避難するとき役立つ道具を提案します」というテーマです。私達は阪神淡路大震災にあつた方々に元気で楽しい生活をおく、てほしいと思います。大震災で得たことをみんなに聞かせてあげて下さい。

(お名前) 菅我 美月

(年齢) 11才

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

阪神淡路大震災がおきて、

阪神淡路大震災がおきて10年がたちます。

阪神淡路大震災という大きな地震がおきて何人もの人が  
亡くなりました。

そこで私は、次に大きな地震がおきるかもしれないから、  
六年生で地震のときなにをした方がいいかや、応急救処置  
のしかたなどを勉強しています。

私は、阪神淡路大震災という大きな地震がきても、死者や  
ひかい者などをたさなないように、次の世代にむけてうけついで  
いきたいです。

(お名前) 玉井友佳子

(年齢) 12才

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 (市) 郡

# 「1.17メッセージ」応募用紙

地震についてのこわさと学んだこと

平成十七年一月十七日に、阪神あわじた"いしんさいか"あり、十年たった今では、残ったあともすくなく何もなからたかのようになっています。

長田区では、一つ心にのこった物が"ありました。

それは、でん中です。でん中が"つながら"てもなく、もえたあとも、すごくこげ"ていたこと"です。次に、野島断層に行、たくさんのことをまねか"ました。じわれのあとものこ"っていて、どんな事"になっているかを見て、すごいなあ"ーと思いました、人と防災未来センターでは、しんじ、3、4、5、6な"じ"は、どんなようすに"なり、どんなものか"たおれるかを見ました、しんじ六では、納全部か"たおれていて、もし本当におこ"たら大変だ"ーと思いました。みなさんにも生きの"び"についてほしいので、かくのこ"ていやかそ"くとはなしあうな"どを心がけてほしい"ーと思いました。これからも地震"について、たくさんのことをし"らかたいです。そして、みなさんに、ゆ"くた"つことかあると"いいな"ーと思います。

(お名前) 十亀 里沙

(年齢) 12 さい

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 南 郡

# 「1.17メッセージ」応募用紙

## 忘れられない「あの日」

平成7年一月十七日、阪神淡路大震災は起った。  
今でも、その地震のあとの、焼けあとが残ったままの一人を見ると、とても、阪神淡路大震災がこゆいなと思いました。  
今、私たちは総合的な学習の勉強をしています。  
調べていることは、地震のことです。  
とくに、阪神淡路大震災のビデオを見て、ビクビクしたし、こわかったです。  
もし、この愛媛県に大地震がきたら、たぶんみんな、死ぬ可能性が高いと思います。  
なので、大地震がくるまえに、総合的な学習で調べたり、学んだことをこれから、いかしていきたいと思います。

(お名前) 藤森 葉菜

(年齢) 11才

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 郡



# 「1.17メッセージ」応募用紙

ぼくは阪神大震災のビデオを見ました。  
その時たてもものやどうろのニわれ方はとてもすごくても  
のすごくニわいなと思いました。  
ぼくたちはその時のようなために地震対策の勉強をしています。  
その時にぼくたちは阪神大震災からいろいろなことを学びました。  
その中でも二つとてもいいことを学びました。  
一つは地震がおきた時のニわさです。  
神戸に修学旅行に行った時、資料を見てニわさを  
しりました。  
そしてもう一つは地震がきて家などがつぶれてもあきら  
めないことです。  
地震辰がきていろんな物がつぶれていても、もう二つ作業  
を一生けん命して、あきらめなかつたことはとてもすご  
いことだなと思いました。  
これから大地震がきても阪神大震災の学んだことをいかし  
て、なんとかのりきり地震にもまけないようになりたいと思  
います。

(お名前) 吉田 暉

(年齢) 12才

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 市 郡

「1.17メッセージ」応募用紙

自然の怖さ

今年、いろんな災害があった。台風や、中越地震がおきて、中越地震では、改めて地震の怖さを知りました。あつというまに、何年もかかって作った建て物があつというまにこわれてしまったり、道路が割れたりして自然の力は、とてもおそろいなあと思いました。

阪神・淡路大震災がおきた時はまだ小さかったのでおぼえていないが、いろんなものがくずれたりして大変だったらしい。だから、家などでも、地震に供えて、対策をしていないといけないと思います。まず、水や、食料、ラジオを供えたり、家具を固定しておくことが大切だと思はす。

いつおこるかわからない地震は、ほんとうに怖いんです。いっせいで、幸せをうばってしまうような気がします。これからは、阪神・淡路大震災のような災害がおこらないよう自分達でできることをしていきたいと思っています。

フジオカ ヒロユキ  
(お名前) 藤岡 宏行

(年齢) 11

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

被災者の方々へ

もう阪神淡路大震災が起きて10年ですね。  
まえに修学旅行で行った時は10年間ですごく町がぶ  
きゅうして地震が起きた所だと思えませんでした。

今ぼくたちは「みんなが助かる地震対策を提案します」という  
テーマで地震について調べています。地震についてはいくつかの班  
に分かれて調べています。

そして今は情報リサーチをしています。ぼくたちの班のテーマは  
「応急しよちに使えぬ道具とその使い方を提案します」です。

ぼくたちのチームはパソコンで探したり本で探したりしていい。  
地震のプレゼンテーションは冬休みが終わってすぐあり  
ます。それまで情報リサーチやプレゼン制作をかんばりたいです。

最後に、もうすぐ寒くなてきますがお体に気をつけてください。

そして、一月十七日のことは一生忘れないようにしたいです。

(お名前) 塩出 俊太

(年齢)

11

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 市・郡

# 「1.17メッセージ」応募用紙

「1.17の思い」

私達6年生は今総合的な学習で「地震・防災」を課題に学習しています。私は学習をしていくなかで地震の恐ろしさを感じていきました。また、大震災にみまわれた人達はどんなことを感じていたのだらうと考えるようになりました。

1月17日の阪神淡路大震災。阪神、淡路を襲った直下型地震が本当に恐ろしいものだったのを感じたのは最近でした。

修学旅行で行った神戸。被災者の人から話を聞いた時はショックを受けました。家具が自分めがけて飛んできたこと、一階がつぶれて二階だけになってしまった家や、食料もほとんどなく、つらい思いをしたこと。全てがたった数秒の出来事の結果だというのが信じられませんでした。

いつ私達を襲うかわからない地震。その地震から命を守るために、1月17日のことは忘れることのないよう、これから生きてゆく人々に伝え残し、いつも心のすみにあの日のことを置いておくことが大切な防災への第一歩だと思いました。

(お名前) <sup>こまつ</sup>小松 <sup>あづみ</sup>愛美

(年齢) 12才

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 市 郡

「1.17メッセージ」応募用紙

1. 「1.17について今思うこと」  
6年 佐伯琴乃

私が(1.17)阪神大震災について思ったことは、「怖い」、「悲しい」ということです。

「怖い」と思ったことは、地震のゆれで家がくずれていたり、火災が発生することです。

「悲しい」と思ったことは、地震の災害でたくさんの人たちが亡くなることです。そしてその亡くなった人たちの家族が悲しいことだと思います。

これから先、東南海地震が起ると言われています。その時のために、私たちが6年生は総合的な学習で、地震の防災についての勉強をしています。そして、この学習を多くの人々が知って、「地震・防災」について意識を高め、何かあった時でも、地震の対策をして、「怖い」「悲しい」という思いをする人が、少しでも少なくなるようにしたいと思います。

(お名前) 佐伯琴乃

(年齢)

11才

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 市 郡

# 「1.17メッセージ」応募用紙

阪神大震災を知って

松井 千尋

私は阪神大震災がおきた時2才だったので震災のことは覚えていません。

六年生になった今、総合学習で地震を中心に防災をテーマに取り組み、初めて阪神大震災について知りました。

「死者やけがをした人がたくさんいたことを知り、すごく悲しく思いました。でもそれ以上に家族、友人、大切な人をなくした人はどんな気持ちだったのかと思いました。

私がかんんでいる愛媛でも近い将来起こると言われている巨大地震の被害があると言われています。

私はその巨大地震に備えるため、阪神大震災の教訓を生かしたいと思いました。

私達はもっと地震について学ぶべきだと思います。予知は難しくても災害に対する備えはできるのだから、自分や他の人の命を守るためにも災害に対して意識を深めておくことが本当に大切だと感じました。

(お名前) <sup>マツイ</sup> 松井 <sup>チヒロ</sup> 千尋

(年齢) 12才

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 市 郡

「1.17メッセージ」応募用紙

被災者の方々へ

平成七年、一月十七日、午前五時四十六分、  
阪神淡路大震災が起こってもう十年ですね。  
その時、私はまだ二才で、阪神淡路大震災が「どれくらい  
ひどいものか、知りませんでした。  
けれど、大きくなってから、テレビや新聞などを見たり、  
家族などの話を聞いていると、とても、ひどい地震ということ  
がわかりました。  
平成十三年、私達が住んでいる所にも、芸予地震が起こりました。  
被害も出たところがあり、とても、こわかったです。  
でも、阪神大震災は、芸予地震より、大きな地震だったので、  
もっと、もっと、こわかったと思います。  
私達は今、学校で、大きな地震が来たときに、一人でも、多くの  
人が、助かるために防災の勉強をしています。  
建物などは、復興しても、心の傷は、消えないと思いますか。  
これからも、体に十分気をつけて、元気に、お住ごし下さい。

タマイズカ  
(お名前) 玉井 鈴香

(年齢) 12才

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

みんなが助かるために

平成七年一月十七日午前四時四十六分に、阪神淡路大震災が起こってもう十年かたちました。

私は、修学旅行で長田区に行き、実際に大震災の被害を受けた人に、みんなはどう思うのかとお話を聞きました。

長田区の人には、阪神淡路大震災が起こった時、すごいゆれが起こり、建物がたおれて圧死してしまう、人がたたくさんいたと言っていました。

私は実際に、阪神淡路大震災の被害にあっているのだから、私に分かりませんが、長田区の人達に聞いて、こんなすごい地震で、なんと分りました。

これから、私達が総合学習をして、小松町の人から、それから、たくさん広がり、日本全国へ、地震が起こった時の対策が出来たらいいなと思いました。

(お名前) 佐藤 結里

(年齢) 11才

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 市・郡



# 「1.17メッセージ」応募用紙

「みんなが助け合うために」

一九九五年一日一日におきた阪神あわじ大震災。

その地震で、死者、けが人も、多く出しました。  
阪神あわじ大震災が、おこったあとも食事をじょうかん<sup>（缶）</sup>に食べられなからたり、  
不安が、たまって収められなかつたそうです。

だけど、阪神あわじ大震災は、またおこらないとは、かきりません。  
私は、非常食チームで

「災害にあったときでも食べやすい食事と、そのためにひつようなきなえについて  
提案しつち」というチームテーマで、総合学習をしています。  
それをしつべて、死者、不安な人を一人でも、いいので、いさせるように  
かんはりたいと思います。

(お名前) 今井仁美

(年齢) 12才

(ご住所) えひめ

都道府県 西条

市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

地震について

今総合的な学習で地震について学習して  
いて。終学旅行で長田区にいて阪神大地震につ  
いて、お話を写真かその時の電柱を見た話を  
を聞いたりして、いちだんと、地震のこわさを感じ  
ました。総合で、赤十字のかいさんに応きゅうはち  
を体験しながら楽しく教えてもらったので、それ  
を学ぶことと生活が便利かしたいと思いました。

かめおつとあき  
(お名前) 亀岡善明

(年齢) 12才

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 市 郡

「1.17メッセージ」応募用紙

地震には、興味は、ありませんでした。

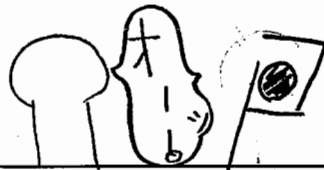
けれど、この勉強をしてから、すこく興味があるようになりました。テレビジョンとして、地震対策の番組をインターネットでしかへました。

そのことから、興味があるようになってきました。

それから、インターネットや、本、そしてインターネットなどから、がんは怖いですが、

阪神淡路大震災から10年がたつて、今も、その強さは、とても、すこく強いことがわかりました。

それから、怖いといいますが、がんは、とても怖い。私も、ちよとでも人のためになりたいので、がんは怖いです。



(お名前) 花田 佳代

(年齢)

17

(ご住所) 愛知県 都道府県 豊田 市・郡

# 「1.17メッセージ」応募用紙

「神戸で学んだこと」

六年 堀江 麻衣

私の学校では、総合で「地震」について勉強しています。

修学旅行では、神戸に行き、一・一七の映像を見ました。

私は、それを見た時にたくさんの人々が、なくなったという事がとても、悲しかったです。総合の勉強をしている時に、もし地震が来たら、どのようにしたら良いのかと、いつも考えています。

前は、ぜんぜん地震の事について考えていなかったけど、神戸に行った時、そのこわさが伝わってきました。もし神戸の地震が起きた時、私が、神戸にいたら生きていなかったと思います。神戸で、学んだことを生かして、どのようにしたら助かるかを、ちいきの人々に伝えて、より多くの人々に伝えたいです。

ホリエ マイ  
(お名前) 堀江 麻衣

(年齢) 12

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条市 市郡

# 「1.17メッセージ」応募用紙

忘れられない大地震

平成七年一月十七日 阪神淡路大震災がおこってから、  
10年がた、たいまでも、焼けた木、おれたしよきたらのけの  
台所などがのこされていて見ると阪神淡路大震災  
のゆれの大きさ、こおさななどがよくわかります。

私は、今、総合の学習で地震のことについて調べています。

その中でも阪神淡路大震災のことを勉強しました。

ビデオなどを見てすごくこおかったです。

このような地震がきたらたぶん死ぬと思います。

だから、このような地震がくるまえに、この総合の学習で  
ならったことが、調べてたことを書くたてていこうと  
思います。

(お名前) 松本 梨紗子

(年齢) 11さい

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 市・郡

阪神淡路大震災のこわさを知り、学んだこと

1月4日阪神淡路大震災、別名、兵庫県南部地震は発生した。犠牲者も多く、火事によって家も全焼したりした。ぼくもこの地震の体験者です。まだ小学生だったので、心もなぐたぶ、つらに思いました。

でも6年生の総合的な学習で、地震防災について修学旅行は神戸と淡路島でした。修学旅行で学んだ所は3つ。1つ目は神戸市長田区。よから所は震災直後から復旧まで体験した人の話が聞けた所です。震災体験した人に話を聞いたのは、3つ目です。2つ目は人と防災未来センターです。震災体験した人やまじりながら、地震のおもしろいことや地震後の火事のいじやがわたりました。3つ目は野島断層です。この断層を見てぼくは地震のエネルギーや大地の変化を、そして3つ目でも地震のおもしろいことを知りました。ぼくは今、車イスの人を安全に歩かせる方法を道員になりたいと思っています。少しですが地震、防災のことも知ってもらいたい。犠牲者も少くしたいです。

(お名前) 伏見 一希 (年齢) 12才  
 (ご住所) 愛媛県 西条市 都道府県 (市) 郡

「1.17メッセージ」応募用紙

阪神淡路大震災からもう十年が  
たとうとしています。地震がおきた  
とき私はまだ2才でした。阪神淡路  
大震災がおきたときのことを私はお  
ぼえていませんが、とても遠い所  
おきたのに、愛媛県でも少しゆれを  
感じましたそうです。

私はお父さんにそう聞いて、とても  
大きな地震だったんだな。と思いま  
した。そして、たくさんの方が亡くな  
った。地震はとっても怖い、と思いまし  
た。交通事故は気を付けていればふ  
せけても、自然災害は、うおこるかわかり

ません。だから一番こわいのです。次にまた南

海地震がおこるかわかりませんが、  
今私たちにできることは、阪神大震災を教訓  
にして、家具のこたえなど、できることを少しでも死者をへ

らしたいです。

(お名前)

工藤舞

(年齢)

(ご住所)

都道府県

市・郡

## 「1.17メッセージ」応募用紙

私は今、総合的な学習で地震のことについて調べています。私達のチームでは、「家の中を安全にするための工夫や方法を提案します。」というチームテーマで活動しています。内容は、禁煙防止器具を調べたり、家具の安全な置き方などを調べています。

そんな対策法を調べていくうちに地震への意識が高まりました。自分の家のまぶな所は、多く家具の固定をしたり、置くいちを変えたりしました。

阪神淡路大震災の時、私は2才でした。

なのでその時のニュースなどは、わかりません。

しかし地震のことについて調べていて、阪神淡路大震災の大きさがすごくわかりました。

これからまた大きな地震がおきると思います。

なので対策をして下さい。

少しでも死者をへらす努力をしましょう！

(お名前) 西陽花

(年齢) 12才

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 市・郡



「1.17メッセージ」応募用紙

1.17のメッセージ

阪神淡路大震災から十年がたちましたが震くが大き  
かったのが多くみんなびっくりしたといっていました。22日<sup>の</sup>間に生活  
が変~~わ~~はて家がくずれ食事も十分とれなくなつて不安な毎日をす  
ていたと思います。私は大震災など経験がないのでそろそろ  
以上にうらり日々をおくっていたと思います。今まで一度も地震が起  
こつたことがなかったのに備えは全然できてないので土曜日・日曜日  
のときにできるだけ地震がおきてきたら「しょうぶ」のように水や  
食料などをたくさんにしておきたい思います。大震災が起  
きたら心でも元気でくらすと思います。みんな是非  
外にあらいるけどかをおとさすにかんはって下さい。  
これからもう頃地震が起るからかなのできをつけ  
てくださいね。

(お名前) 三木真奈美

(年齢) 11才

(ご住所) 都道府県 西条 市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

今から十年前あの「阪神、淡路大震災」  
が起こり多くの犠牲者が出ました。  
それから十年後、僕は今、総合学習で  
「地震の防災」について調べています。  
今年の5月、僕は小学校の修学旅行で  
兵庫県の神戸に行き、実際に被害を  
うけた人に聞きとり学習や資料、映像  
を見て僕が知らなかった情報を  
知りました。その中で一番心に  
残ったことは、ある人の言葉で  
「自分にされて嫌な事をせず、自分に  
されてうれしい事をどんどんしていただく  
いざという時助けられる」という言葉が  
今も心に残っています。これから寒くなて  
いくけど被災地のみなさんもお元気でいて下さい。

(お名前) 持主 樹男

(年齢) 12歳7

(ご住所) 愛媛県 都道府県 西条市 市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

丘公園にひびく音がもたらした阪神大震災からもう10年という月日がながれました。また、30年以内に阪神大震災をもうあまある大きな地震が起こる可能性が90%以上もあるといわれています。その地震の名前は、南海大地震といえます。阪神大震災よりもひびく音が大きいと予想されていますので、たてもののひびきや死傷者もたくさんでると思います。

地震はいつくるかわかりません。私達はいつどこにいても生きている可能性をあげるため、地震について勉強しています。けれど阪神大震災からもういえることですが、1.17の切なものは地震について関心を持つことだと思います。そしてまた、何をすればいいかなどを考えるのです。

私達も少し勉強して地震についての知識を増やして、阪神大震災を教訓としてひびきを少しでも少なくできるような努力をします。新がたの方でひびきにあちかっている方も、みんな応援しているので、寒いと思っても、かんがって下さい。

(お名前) 野 仁恵

(年齢) 12才

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 市 郡

「1.17メッセージ」応募用紙

1.17

1.17の木は、1月17日に起った阪神淡路大震災の  
 ころ。その地震のすごさは、僕は知りません。  
 向せ、その時はまだ小学生でした。だから、あまり地震のゆれ  
 を、大げえしていません。  
 でも、父や兄弟から地震の怖さをおしえてもらいま  
 した。その地震の被害は、さぞかしすごかったんだ  
 ろう。と聞いています。だって今でも、その被害のあとが、  
 残っているから、それほどすごかったんだなと心ま  
 す。  
 この木から、起こることをわかってる南海大震災では、少  
 とも被害が、少なくなるように、なにか、対策をしてま  
 かりたいです。僕の家では、高い所に置いてある物を、低い  
 位置に、回さかたしました。だから被災者のみなさんも、  
 阪神大震災のころを、いかして、南海大震災に、備えること  
 かんばってくださーい。  
 この木からは、寒くなるけど、元気で生きてくださーい。

(お名前) <sup>ま</sup>真 <sup>な</sup>鍋 <sup>だい</sup>大 <sup>すけ</sup>輔

(年齢) 11

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 市 郡

# 「1.17メッセージ」応募用紙

僕は今、総合的な学習で地震のことについて、調べています。僕は地震対策について、とても関心を持っています。もし今、地震が起きたら、多分、机の下に逃げ、地震が止まったら、周りを確認し、安全な所に逃げると思っています。

阪神大震災では犠牲になられた方々、あなた方が地震のことに関心を持たせてくださりました。関心を持たせてくださりました。「わい」と言うことをお教へてくださりました。

そんなあなたになんと言えよいか、感謝です。この地震の怖さをもし、知らなかったら、生きるための方法を知らなかったら、早く死んでしまっても、あなた方が教えてくれたことを落着いてすれば助かる確率が少しは、上がりです。

この地震プロジェクトをして、本当によかったです。もっとも生きる確率を上げるため、もっとも地震避難方法や、対処方法などを調べていきたいです。

(お名前) <sup>すけだ いし 35</sup>  
石田 啓次郎

(年齢) 11才

(ご住所) 愛知県 都道府県 西条 市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

阪神あおい大震災の日たくさんの被火者がいました。ぼくたちは、総合の時間に地震のことを調べています。ぼくたちは地震のことを勉強するまでは、地震のことを考えたりしませんでした。阪神あおい大震災は震度4でビルがたおれたり窓がうたがれたり火事(火)もたりしたそうです。たいへん困ったとうたと聞きました。阪神あおい大震災の前は子カの地震がたたと聞きました。子カは9級の地震がたたと聞きました。阪神あおい大震災の時(時)は多く七つたのは圧死で七つた人が多く七つたままです。南海大地震での対策を考へています。ぼくたちも南海大地震の時(時)は対策を考へています。阪神あおい大震災でまたぶっできていない所もあると思います。がんばってぶっして下さい。

(お名前) 佐伯 龍一 (年齢) 12才  
 (ご住所) 愛媛県 西条市 市・郡

# 「1.17メッセージ」応募用紙

「ほくほく」の1.17メッセージの新聞を見て、少しずいいなと思  
所がありました。地震での対策がぬとくさいと思っ  
りしたけど、1.17メッセージのことで地震での対策をして  
いながら、危険だと思えることがわかった。

そして地震のことで「阪神淡路大震災」のこ  
がまたよく知りました。

自分は地震のことについて総合でやっているけ  
ど、地震での考えは、何とやらないので、やろうかな  
と考え実行したいと思います。

それでこれからは、地震の1.17メッセージのことを思い家  
で地震での対策をしたいと思います。

(お名前) 藤野 隆

(年齢) 11才

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条市 市 郡

「1.17メッセージ」応募用紙

。阪神淡路大震災から10年  
10年まえ阪神大震災がおきた。マグニチュード  
7.3、亡くなった人6,433名。ほくは、6年の総合  
合学習で地震の事をしている。ほくは達は、5月  
27日～28日まで、修学旅行に行った。行った場  
所は、長田区、人と防災未来センターに行った。  
長田区では、本当に、阪神大震災に出合った人  
に、話をきいた。本当にすごい地震だったんだな  
と思った。人と防災未来センター行って、震  
災直後の町を見た。30年ちかきに、強い地震  
くると言われている。それまでに、地震の勉強  
をかかって、その大地震を生きのびたいです。

(お名前) 日野剛太

(年齢) 12才

(ご住所)

都道府県 西条

(市) 郡



# 「1.17メッセージ」応募用紙

10年前の一九九四年に大地震がおこりましたね  
でもまた30年以内に大地震の東海地震がおこるのをしっ  
てい  
ますか? とてもこわいですね。

みな人のとうぐなどもしておいたりした方がいいですよ。

東海地震は阪神淡路大震災より愛媛県はひかいいか大きいよ  
ですね。

また大きな地震かきても地震にそなえなどをしておかいいはくする  
ためかみがつてくたさうね。

でもあったか<sup>割合</sup>なのにかくのこしてい<sup>や</sup>などをしておいた方がいい  
いですよ。

そのあつ花をぶせ<sup>く</sup>ためにほくとた<sup>鳥</sup>はだれにでもできる地<sup>ん</sup>  
たいさくのちえし<sup>やう</sup>をつ<sup>く</sup>っていま

そのちえし<sup>やう</sup>をつ<sup>く</sup>つておん<sup>な</sup>にく<sup>い</sup>が<sup>つ</sup>をあ<sup>こ</sup>して<sup>も</sup>大<sup>く</sup>の  
人をた<sup>お</sup>けていき<sup>た</sup>いで

(お名前) 伊藤暢<sup>あ</sup> 崇

(年齢) 12才

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条市 (市) 郡

# 「1.17メッセージ」応募用紙

ぼくは、6年生になって地震のことを考えだしました。

今まで地震のことをこんなふうに考えてなかったのだから、地震がこんなにこわいななんて思っていませんでした。これをして自分や家の人がかしがないようにそなえをしておきたいです。

それに家の人と話をしてどこにひなんするとか、バウバウになっていたらどこにいけばいいかとかを話し合いたいです。

また家具などをこていして、たおれてこないようにして少しでも安全にくらせるようにくふうしたいです。

(お名前) <sup>おお</sup> <sup>おみ</sup> <sup>みよ</sup> <sup>ゆき</sup>  
大岡 孝幸

(年齢) 12才

(ご住所) <sup>あま</sup> <sup>え</sup>  
愛媛 都道府県 西条 市・郡

# 「1.17メッセージ」応募用紙

私は大きな地震にあつた事がなかったので、  
どんなことになるかは、あまり分かりま  
せん。でもこの前機械で地震の揺を、イ  
体験しました。私は火を消す役になりました  
した。震度4位いまでは、火を消す事が  
できました。でも震度もからは、  
火を消しにくかったです。火を消せても、  
机の下に入るのが遅くなるので、  
もう「圧死」になるだろうと思ひました。  
だから私は、総合的な学習で地震対策の  
事について調べています。そして家の中  
を安全にしようと思ひます。危険なところ  
調べて少しでも役立てるよう頑張ります  
ので被災者のみなさんも頑張ってください。

(お名前) 高山理香子

(年齢) 11才

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 市・郡

# 「1.17メッセージ」応募用紙

私は、地震について調べていて、地震に。この意識がたかまりました。

12月5日に学習発表会をしました。そこで、私達6年生は、地震の事について、自分達のチームテーマを発表しました。その時に、来てくれた方には、中越地震の御金をしました。みんなはたくさん入ってくれました。

やっぱり、1月17日は忘れない日です。

それから私達は、チームテーマにそって調べ学習をしています。私のチームは、各地域の危険な場所と、災害の時に、役立つ所を、地図にして、提案したいと思、ています。もし、それを提案して、みんなが助かるなら、やってよか、たと思います。

私達も、総合をがんばるので、みなさん、これからもがんばって下さい。

(お名前) 黒川 夢華

(年齢) 12

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 市 郡

「1.17メッセージ」応募用紙

「1.17メッセージ」

六年 渡部 誠志郎

ぼくは、今年地震の勉強をしています。

地震のことをしるまえは、ここ愛媛では大きな

地震がおこったことがなかったので、ほかで大きな

地震がおこっても他人ごとのおもっていましたが

ぼくは、六年生になって地震の勉強をして、地震は

いつどこでおこってもおかしくないということも知

たし、ケガをしている人をどのようにしたらいい

かもしりました。そして、もと地震のことを調べて、生

る可能生をもっと多くできるようにがんばりたいです。

そして愛媛の小松の人に少しでも対策をとってくれ

るようがんばりたいです。

(お名前) <sup>わたなべ じょう</sup> 渡部 誠志郎

(年齢) 12才

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 市 郡

「1.17メッセージ」応募用紙

をし南ーいかでどもとだしたハ合まんとと  
 むて海つから南海どもしいんたす学せにを  
 だ阪地ーら南海てしれ恐。そる習んた調  
 に神震つ阪海大いいよとし識ししたべ  
 し大がの神大地きとに思てかてしたる  
 な地震こ大震災ま思地阪神だくうち強  
 い震てとを気をもとにじこしな  
 よ災も死ぬ確立をな加ら  
 うで死ぬ確立をな加ら  
 に死ぬ確立をな加ら  
 いんきた人の減ら  
 きだた人の減ら  
 た人の減ら  
 いの減ら  
 び死す。

藤原敏晃

(お名前) 藤原 敏晃

(年齢) 11才

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 市 郡

「1.17メッセージ」応募用紙

17メッセージ

ぼくは、阪神・淡路大震災が起った時には、まだ二才になる前でした。それで、六年生の総合口の学羽白で、震災について調べるまであまり深く考えなことはありませんでした。でも、実際に修学旅行で長田区の人に、震災のことについて聞いた時、大震災が来た時、家や家の中かどうなるかなどを見て、日一人一人色々な経験をさせているのを見て、他の人達のために生かせるよう、熱心に行なうてくたせたいと人ななちで思いました。

また、ぼくのお父さんが、震災直後は、大阪へ仕事で行ったことも同じことかひきました。お父さんが行ったところは、震災のあった所からは、高いのが高い、低いのが低い、家が倒れた場所や、かみかみ落ちたところ、道路もつなづかぬか、ここを通るべからぬ、そのままたつた、二車かこを予想もせずに生活していたころは、この震災で、何もかも赤たあつてしまつて自分の立てている地面も、うなるかみかみなり、本当にどうもするよすがも、何もかもなくなつてしまつた。

ぼくは、このことがうにきて、考へることにしました。でも、地震は、日一人一人かまへない、このことを、こまかに地震は、こまかに立て直して、こまかに立て直すて、思っています。

お名前 (お名前) 岡山 弘朗

(年齢) 11才

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 市郡

「1.17メッセージ」応募用紙

阪神淡路大震災で学んだ事

今井 遥香

阪神淡路大震災がおきてから10年がたちました。阪神大震災がおきた時の事はおぼえていません。でも、なごりはなれた愛媛にも、戸かがタガタとゆれていたと母が言っていました。とてもはなれていのに揺れを感じたのは、すごく阪神大震災は大きな揺れだったんだなと思いました。

地震は、いつくるのかわからないから、地震はとても怖い災害だと思います。でも、自然の災害は、止めることができないので、私は私達がなれにでもできる家具の固定をもしたらいいと思います。前からそう言われていたけど、中越地震、阪神大震災であらためて家具の固定が大切だと思いました。

(お名前) 今井 遥香

(年齢) 11才

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 市・郡



「1.17メッセージ」応募用紙

今、ぼくたちは避難生活の学習で、「地震」について学習しています。  
みんなは、大震災の事を覚えていますか？  
あの日、たくさんの方が負傷者が出ました。その時、  
ちゃんと地震対策はしていたのでしょうか。  
みんな、これから近い将来にも大きな地震がくるといわれて  
います。その時のために、地震への意識を高め、  
備えをしておいた方がいいと思います。

(お名前) かとう 早希

(年齢) 12

(ご住所) 愛知県 西尾市

# 「1.17メッセージ」応募用紙

私は、阪神・淡路大震災の時、まだ2さいでした。なので、その時のことは、おぼえていません。でも、新聞やインターネットなどで、多くの人たちがなくなり、大きな災害をもたらしたということを知りました。私は愛媛県に住んでいます。なので、これまで大きな地震などにあったことはなかったので、阪神・淡路大震災で、なくなった人達のご家族の方の気持ちになったことがありませんでした。これからおこる地震で、大きな災害がおこらないように私達は今総合的な学習で、「みんなが助かる地震対策を提案します」というテーマで学習を進めています。地震がきても、一人でも多くの人々が助かるようにできたらいいなと思います。なくなった方々のごめい福をおいのりいたします。

(お名前) 首藤 実華

(年齢) 12

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

阪神あわじ大震災から10年たちまちは、なおたと思います  
が、まだみなさんの心のキズや阪神あわじ大震災のとき  
のきょうふは、まだ残っていると思います。

阪神あわじ大震災の時ぼくは、1才でした。

なので、阪神あわじ大震災の時のことは、あまりおぼえ  
ていません。

でも、パソコンなどで、阪神あわじ大震災についてしま  
した。阪神大震災はとても強い地震だということも  
わかりました。こないだおきた中起し地震もとても強い  
地震でした。でもぼくは阪神大震災のほうが弓金  
いと思いました。

ぼくは愛媛県にすんでいても、愛媛県で、阪神あわじ大震災の  
ような弓金い地震が来たか、いけないので、家でも土地震対策を  
して行きます。それでは、ひさいしおのみなたん、こめがもまげんきて。

(お名前) 桑原拓哉 (くわはたくや)

(年齢) 11才

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 市 郡

# 「1.17メッセージ」応募用紙

私は、阪神・淡路大震災でおおくの  
人がなくなっ、たことをしりました。

とても悲しいことに、なくなっ、た人  
やけがをした人は、子どもやお年寄り  
ばかりでとてもびっ、くりしました。

もうこんな地震がおきてもなくなる  
人が少くなくなるようにしたいなと  
思いました。

今後、家やひな人場所で備える物や  
たくさんの方がいきのこれるように家  
具の固定などを調べたいと思います。

そして、この調べた物をまとめて、多  
くの人に伝えるようにしてたくさんの人  
の命を助けるることができればいいと思  
います。みなさん、寒いけれど、かぜを  
ひかないでいてください。

(お名前) 今井 恵里加

(年齢) 12才

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 市 郡

## 「1.17メッセージ」応募用紙

私たちは、地震について今調べています。

私のグループは、「地震についてこれだけはおいてほしいことを提案」しています。

地震から十年がたちました。街には少しばかり災害のつめあとかのこっているけど、ほとんどはキレイな街になっています。けれど人の心はどうだろう。きおくにある暗い街、食べ物がなかった、飲み物もありませんでした。

街はどんどん新しくなっているけど、人の心はそうかんたんに新しくなれるもんじゃありません。

だから私はこう思います。

災害にあっていない私たちもせつたいにわすれてはいけぬ。

私たちは震災のけいけんがないので、少くらのいはげましながら何回でもできる。だけれど心から気持ちをわかるらとするのも大切な大事なことのひとつと私は思います。

これからも被災者のみなさん お元気でいてください。

(お名前) 山下 柊子

(年齢) 11才

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 市・郡

# 「1.17メッセージ」応募用紙

防神大震災があったあの日、小松町もゆれた。震度3ぐらいだったらしい。だが神戸市の方は、もっと強い地震だったろう。死者やけえふわいな人達もいたろう。ぼくもその時死にいたら死んでいるだろう。今は、学校で少しづつでも地震の事について調べているから少しづつ地震の事についてわかってきた。防神大震災で死んでしまった人がもし生かされてくれるのなら、その人達に地震の事についておしえてあげたい。  
なぜかというとは父達が「おしえてあげる事で死ぬがくりつをへらすことが出来るかもしれないから。」

(お名前) うえだ けん  
上田 健

(年齢) 12才

(ご住所) 都道府県 西(京) 市・郡

## 「1.17メッセージ」応募用紙

阪神大震災が起こってから、10年たちました。あの日、何人の方が、亡くなったのでしょうか。

姉をなくした悲しみ。家族をなくした悲しみ。こんな悲しみが当時は、たくさんあったのでしょうか。

私はこのようないいけんは、したことはありません。しかし、この近い将来、阪神大震災より大きい南海大地震が来るかもしれません。こんな大きな地震が来るのに、何もならないままでいいのでしょうか。このような被害をうけないのでしょうか。

この南海大地震が来る確率は、30年以内で、90%です。

私は、自分が助かるために、家族、友達がいなくなるために、もっと感心をもって、笑顔で住めるようにしたいです。みなさんも心がけてみたらどうですか？

そして、不幸にも命をおとされた、大くの方々のご冥福を心より、お祈りしています。

(お名前) 十亀 裕子

(年齢) 12

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 市・郡

# 「1.17メッセージ」応募用紙

ぼくは、阪神大震災が起きた時は、まだ2さいでした。  
ぼくたちは、修学旅行で神戸の長田区をおとすれ  
ました。

はじめて見ただけでは、とても地震が起きた所とは  
思いもしないほど、キレイになっていました。

ぼくは、長田区のおばちゃんに地震が起きた時は、  
人とのつながりが一番大切だと聞きました。  
それを聞いて、今のぼくに、足りない事だと気付きました。  
これからは長田区で聞いた事、見た事を教訓にして、  
これから地震が来た時に役立てたいです。

寒くなると思いますが、どうかお体に気を付けて、  
お元気ですぞして下さい。

(お名前) 長谷部 友紀

(年齢) 11 さい

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 市 郡



# 「1.17メッセージ」応募用紙

兵庫県・淡路島をおそった阪神淡路大震災から、早くも十年という年月が流れました。あの大地震の時、私はまだ二才でした。だから、十年前の事など全くおぼえていません。しかし、新潟県中越えつ地震がおきて、地震のおそろしさがよく伝わり、同時に、阪震淡路大震災の時は、もっとすごかったのかなあ。と思いました。死者の数もハンパではなかったでしょう。でも、被災者のために届いた全国からの支えんや手紙などは、人々のあたたかさや、同じ人間としてのやるべき事や、思い、願いの結晶だと思っています。災いは、悲しみやいかりを生み出すけども、同時に人々のぬくもり、情け、そして新たなじの一步をつくり出すものだと思っています。今までの深い悲しみから立ち直り、多くの命をむたにせず、未来につなげていこうと思っています。

(お名前) 松尾 理佐

(年齢) 12才

(ご住所) 愛媛 都道府(県) 西条 (市) 郡

「1.17メッセージ」応募用紙

今、地震の事について調べていて、学習発表会でぼんをとったり、私たち6年生が地震の事を発表をしました。地震の勉強をして地震にたいしての意識が高まったこと、があります。それは、家にいるときに今地震がまたら、家の中はどうなるのか。私とはどうなるのかとが今また時のためにこの家具はこのように固定すればいいかと入毛をとったりすることがありました。このようにして私とは地震の意識が高まりました。この季節になると寒くなってせをひく人がいます。気をつけてせをひかないようにかんはって下さいね。

(お名前) 黒河 藍

(年齢) 11 才

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 市 郡

「1.17メッセージ」応募用紙

今から十年前、よくか二才の時阪神淡路大震  
災があった。たことは、おぼえてりなり。今に

な、て総合で地震アロツイクトさして、まゝ  
今 地震が越、たご家の中の道具や家具は、  
たおれて、お回かえしじやあれたおれてくる  
と思いまも、四国へは大きな地震がくると言われ  
まよりのぼくの家は家具はついでに、なりのでこ  
した。話をあ、修学旅行に行く、長田区に行き  
た。信託の中心に、おれが、おれが、おれが、おれが、  
ました。住建物系が、約千五百トンのもの、地  
震、ひくすれた。その、住建が、くすれた。この  
目里は、二百三十トンの、島断層に行くと  
ラックの、タレボ、が、落ちて、ミ、道、路、も、く  
が、れ、ま、し、た。修学旅行の事を、学、校、の、総、合、の  
事、に、か、し、た、り、で、す。

(お名前) 川村 修一 (年齢) 12才  
(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 (市) 郡

# 「1.17メッセージ」応募用紙

震災から10年の思いと今後の決意  
ぼくは、震災から10年たった。ぼくは  
初めて防災の事に関心を持ちました。  
阪神淡路大震災の時、ぼくは、2才で  
神戸にいました。その時、幼なくて  
寝ていたのど、どんな事が起きたのか、  
覚えていません。でも、最近新潟で、  
大きな地震が、起きてぼくは、初めて  
地震の恐さを知りました。それまでは、  
地震が怖い事だ、と思った事はないだろ  
うと思いましたが新潟で地震が起きた時に  
そう思いました。その時初めて防災バックを  
用意をしました。ぼくは、総合的な学習で死者  
が出ないように総合的な学習ではも  
ち力を入れてやっていきたいと思  
います。そしてその後大きな地震  
が来ても死ぬ可能性を下げ、生き残る可能性をあげたいです。

ミツト 麻大  
(お名前) 松本 麻大

(年齢) 12才

(ご住所) 愛媛

都道府県 西条

市・郡

## 「1.17メッセージ」応募用紙

私は、阪神・淡路大震災が起こった時、まだ「赤ちゃん」だったので、どういう地震だったのか知りませんでした。でも今年、6年生の総合学習で地震のことを調べることになって、修学旅行では神戸へ行って、阪神・淡路大震災がどういう地震かわかりました。神戸では、また「火事」の焼けたあとのこと、聞いていました。阪神・淡路大震災のビデオを見てすごくこわい地震でおどりました。

総合学習では今、いくつかのチームに分かれて、それぞれのテーマにそってプレゼンテーションをするので、情報リサーチをしています。私は、地震が起こった時の連絡法について調べるチームで連絡のことを調べています。私たちがプレゼンテーションをした時、見ていた人が、阪神・淡路大震災のような、大きな地震が起こった時、少しでも助かるような社会に役立つプレゼンテーションにしたいです。

(お名前) <sup>ひらつか</sup>平塚 <sup>みほ</sup>美穂

(年齢) 11才

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

平成7年1月17日、午前五時四十六分に、野島断層と中心におきた阪神淡路大震災が(兵庫県南部地震)10年がたちました。七くな、たちの友達家族の人は1月17日とどう思っているかと思ひます。ぼく達は愛媛県西条市立小松小学校の6年児童です。今、総合学習の時間に地震について考えたり、調べたりしています。この前に新潟中越地震もありました。死者は30人以上でした。しかし阪神大震災よりひどいとはおもいません。5月に修学旅行で神戸にいて地震のことについて長田区の人に聞いたけど、明るくぼくたちにお話してくれました。なぜそんなに明るく話せるのか不思議でした。新聞にかいていました。「阪神の教訓生かせず」と書いてました。ぼくはこの記事に注目してみました。

これからも被災者の立場のことと思ひ、つらいこと、楽しいこと、うれしいことがあっても、阪神大震災のことを忘れず、元気で人生をたのしんで生きていきます。

(お名前) 別宮 恭平

(年齢) 12才

(ご住所) 愛媛県 西条市

「1.17メッセージ」応募用紙

1.17メッセージ  
二人に火災はぼくたちは総合でせし人に交わして勉強  
していきま  
ぼくたちはかとうとして消火器のつかい方をま  
うったりしゅうがくしゅうで人と消防未来センターが  
のしむたんえうにしました。  
人と消防未来センターでせし人にかんしてのことからはおはひし。  
のしむたんえうではたんえうをまいかじりました。  
そとではあきをつけせうなら。

(お名前) 夏間一菜

(年齢) 11才

(ご住所) 2018 東京都府県 116 市 郡

「1.17メッセージ」応募用紙

あたしは1月17日にあったことを忘れない。とつ然の災害。大きな被害。人々の苦しみ、悲しみ、絶望…。私の知る限りのことを、憶えておきたい。少しの人にもいいから、知らない人に知ってほしい。同じことをおこさないためにも

私達は今、防災をテーマに学習をしている。「なんのために？」と聞かれたら「地震のときに、自分や自分の大切な人を失わないために。阪神あわじ大震災と、思いあまちをくり返さないために。」と私は心からそう答えると思う。

でも、災害は、ある日とつ然おもわぬときにやってくる。だから、そのある日のために、私は一つの心がけとして、1月17日のあの時にあったことを忘れない。他の人が次々に忘れても、忘れるの奥に焼きつけておきたい。運命の目がやってきました とき、生きているうちに

(お名前) 野佐 朋可

(年齢) 12才

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 市 郡



「1.17メッセージ」応募用紙

兵庫県南部地震からもう10年ほくはその時のことは  
知らないけれど、きっとおそろしい地震だったと思います。  
ほくは大きな地震というものをあまり知らないけれどこの  
前の中~~東~~地震で怖さが分かりました。中~~東~~地震  
より阪神大しん災はすごかったと聞いているのでそれを  
上回る~~東海~~大地震はこんなまていいのかと思いました。  
しかしだから僕達の防災プレゼンはとてもやがいかある  
なあと思いました。これからくる大地震にそなえてほく達も今から  
できる地震対策やいたんからの心がけが大切だなあ  
と思いました。

(お名前) 真鍋 彩衣

(年齢) //

(ご住所) 姫路 都道府県 西條 市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

阪神淡路大震災が起こってから10年たちました。

この10年の間 芸予地震や台風など大きな災害がありました。

そこで今私たちは、地震について言聞かしています。

近い将来大きな地震が起こるといわれていて

もし地震が起こった時、いでも多くの人たちが且か

がけ、自分で自分を守るために、この学習をしています。

そして、私たちは、地震について海チームに分かれ、

一つのチームがみんなに役たち、社会にも  
役たつような、プレゼンテーションができるように  
がんばっています。

(お名前) 曾我部 震海

(年齢) 77才

(ご住所) 愛媛 都道府(県) 西条 (市) 郡

「1.17メッセージ」応募用紙

1.17メッセージ

こんにちは、ぼくたちは総合で地震の勉強を  
しています。ぼくたちは総合の授業で消火器の使  
いかたやきん車で地震のゆれをかんじました。  
震度4以上では、まあ強いゆれでした。  
長学旅行では長田区や野島たんぞうや入と防災未来  
センターに行き地震のことをたくさん学びました。  
赤十字のいじさんに応急処置のイキ方やだめかたお  
ねている時はびかたを学びました。  
この学んだことも生活いかしたいと思いました。

(お名前) <sup>おたくい</sup> 杉田 一

(年齢) 12才

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条 市 郡

「1.17メッセージ」応募用紙

「阪神淡路大震災を思いだして」  
二月十七日歴史に残る大きな地震がきた。  
あれから十年たった今何もなかった所には、  
ビルや家かたちならんでいる。

あの大きな地震を忘れないで次の世代にうつ  
がれたければいけないと思います。

阪神あけい大震災でおきた死者のかたがたのよ  
うなむかい者をたまたまように、次の大きな地震  
がきたらいいように、なをえをして、いつまでか忘れない  
ようにしたいです。

また、阪神大震災のようなむかい者や死者をたまた  
まように阪神あけい大震災を思いだして、むかい者や  
死者をあまいたまたまようにしたいと思いました。



(お名前) 渡部真奈美

(年齢) 12才

(ご住所) 愛媛 都道府県 西条市(市)郡

「1.17メッセージ」応募用紙

1.17について思うこと

私は、阪神淡路大震災について、恐怖を感じています。

どういふ恐怖かといふと、家族が自分の周りにいなくなったり、家かぐすかたり、自分のか地震にまきまかれて死んでしまうかもしねないといふことです。

そういうことにならないために、私たち6年生は、総合的な学習で、地震について調べています。この学習をたくさんのかか、知って、私か「思っている恐怖を感じるか」少なくなれば「いい」思ひます。



(お名前) 日野 朱音

(年齢) 11才

(ご住所) 愛媛県

都道府県 西条 市・郡

地震の学習で

今、6年生の学習で地震のことを書いています。  
その中の1つで阪神・淡路大震災のこともあり  
ました。そこで修学旅行で神戸の長田区に行  
きました。

長田区の人達から話を聞いて、2つのことが頭の  
中によく残っています。

1つ目は、地震が起きた時近所どうしの助け合  
いが大セカだと分かりました。このことで、僕は、同じ地  
震が起きた時は、助け合、ていきたいと思いました。

2つ目は、その時の様子を聞きました。最後まで聞いて  
いたら様子は分かりましたが、同じにこわさもわかりました。  
しかし、実際にいなかったのでもその時の様子は、いまひとつ  
分かりません。

この学習を続けていたら地震のことについて、いろいろ分かってきまし  
た。あの阪神・淡路大震災のことは絶対に忘れません。  
地震で災害にあつた人もがんばってください。

(お名前) 金久 浩士 (年齢) 12

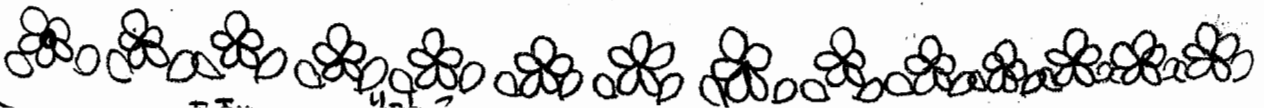
(ご住所) 愛媛県 西条市 郡

「1.17メッセージ」応募用紙

兵庫県、震災にあった方へ。

平成7年に阪神淡路大震災がおこり、もう、10年になりますね。阪神淡路大震災がおこったとき、私のすんでいる愛媛県では、われもな、また私は小さかったため、何もおぼえていません。けど、私のおばあちゃん(おばあ)は、実際にこの地震にあっていて、愛媛にあそびに来ているとき、私に、この地震について、おぼせてくれます。

私は、このあんな話をきいていて、本当に大変です。たんだな、と思いました。今年私達は学年の総合学習で地震という、題材で学習しています。いろいろや資料やビデオをみていると、地震は、あつれを時に、またくるという言葉があり、この地震のことは決してあつれてはならないこの地震で、せくなつた人の死をまたしても、いけない、と思っています。この地震で、家族が、せくなつた方、せくなつた人は、おとあなたを見つづけています。これからは、おと前向きに生きていって下さい。



(お名前) <sup>玉</sup>井 <sup>亮子</sup> 亮子

(年齢) 12才

(ご住所) 愛媛県 都道府県 西条 (市) 郡

「1.17メッセージ」応募用紙

阪震大震災を通して

私達は総合的な学習の時間に関災・地震をテーマに勉強しています。そして、今年の五月に阪神大震災の事を学ぶために兵庫県神戸市に修学旅行に行きました。一目見た時はとても美しく本当に大地震がおこった場所とは思えませんでしたが、被災の方のお話を聞き「地震、とても怖い。一瞬で何もかもを失ってしまう」という恐怖心がわきました。

また、今年は自然災害が多く、新潟県や北海道でもとても強い地震がありました。もしかしたら南海地震などの巨大地震がおこる日が近いのではないのでしょうか。そう思うと改めて防災意識を高め、備えを改めて人が意識しないといけないなと思いました。私も自分の部屋を安全にするためにどうすればよいかや、家族で話し合いをもう一度したりするなど自分のできる事からしようと思っています。

(お名前) <sup>みほら</sup>三原 <sup>あき</sup> 颯

(年齢) 12 さい

(ご住所) <sup>愛媛</sup> 西条 <sup>市</sup> 郡



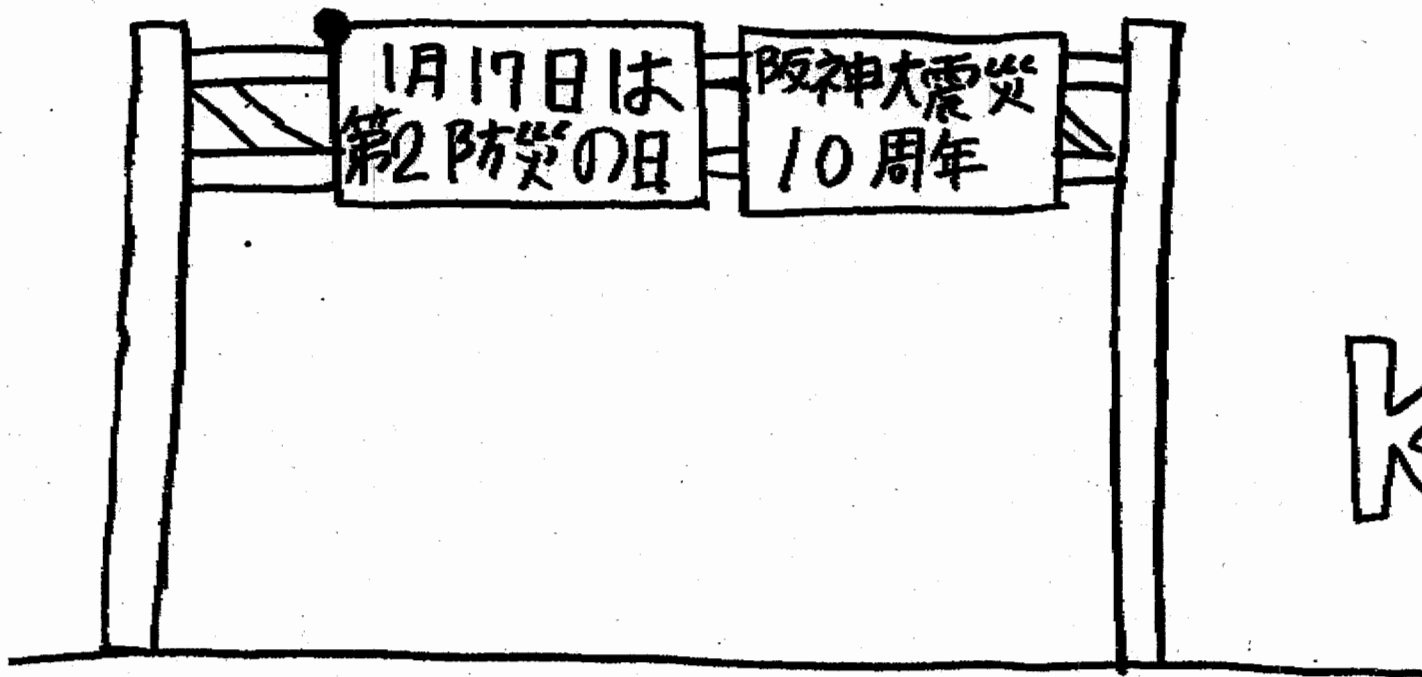
郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)	(1)16キロコース(西宮市役所) (2)10キロコース(芦屋・川西運動場) (3)2キロコース(王子公園) (4)10キロコース(県立文化体育館) (5)5キロコース(大倉山公園野球場) (6)追悼式典会場
住 所	愛 媛 県 郡 武 府 郡 木 公 山 市 町・村
フリガナ 氏 名	ムラカミ マチ子 村上 昌子 (24歳) 参加人数 (市町村を含む) *2人以上の場合に記載して下さい。 人

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

修学旅行や阪神大震災の思い出を風化させない！  
 土曜日のイベントに見て参加する、お土産も大分出す。(暑中お見舞い、年賀状、暑中お見舞い)  
 明日は来週に向けて発信の準備を急いで元気に戻ります。



1.17  
KOBE

阪神大震災10年

村上昌利画



1.17

KOBE

阪神大震災10年

メッセージ:最近のニュースはスマトラ地震津波、新潟中越地震など、地震関連のものが目立ちます。  
でも、こればかりは事件、事故のように事前に防止することができず、科学が発達した今でも100%地震がいつ起こるかを誰も知ることはできません。

僕も中学一年のとき、阪神とか新潟とはかなり小さい震度5弱ですが、芸予¥地震を体験しました。  
震度5弱とはいえ、ゆれは結構¥すごく、立っていることもできず、ただ机の下で机の脚にしがみついていたのを今でも覚えています。  
でも、阪神とか新潟はこれよりさらにひどいゆれ、ということで本当に、本当に怖いです。

「地震を予¥知することはできないが、被害を小さくすることはできる」

よく聞く言葉です。  
我が家でも最近、家具に突っ張り棒をつけたり、ペットボトルの水を用意したり、だいぶ意識が変わってきました。

まだ幼稚園だったので、あまり記憶にない、阪神大震災。。  
でも、今、本当に強く感じています。  
そして、この10年の節目を機に、もう一度地震について、災害についてよくよく考えてみたいです。

名前:三浦 秀章 (みうらひであき)

年齢:16

住所:愛媛県新居浜市

阪神淡路大震災から十年前の弟の故郷神戸は素  
晴しい街に復旧したと聞く。一月十七日早朝にわどりの鳴き声に  
異常を感じ、起き出してガスに火をつけ、テレビをつけると字  
幕に地震がありまゝという流しかあり、神戸放送局のゆれて  
いる様子や棚から次々に物が落ちる様子、向もなく街のあたりこ  
ろで黒い煙があがりやめて、火事になそゆく様子が映った。  
そこから何日か、テレビにくま付けとなり、主人も仕事と休  
神中の親類の人達の無事を祈り続けたことであつた。  
灘区に住む叔父から第一報の電話が入ったのはその日の午後  
であつた。幸、近くに住む叔母達には被害はなかったものゝ。  
條原南所に住む姪の一家が家の下敷になつていた様子で、  
高知に住む妹は交通も途絶えた神戸へ行きたいと皆を困ら  
せたり、大変であつた。幸、無事に助け出され、大阪の知人宅で  
お世話に存じます。多量の人のお世話話に足りません。  
多量の人のお世話に、火災で家を失った人々や、無事に助か

人々も すうかり愛してしまつた神戸の街に とほうにん水取のむすね  
 いひしうが、あの時から少女時代を過したあつかしい神戸の街  
 はなくなつてしまひました。昭和三十九年から三十五年にかけて暮らした  
 灘区の山から海岸まで あつかしい人々の住んでい長あか街はもう  
 どこにも残つていないという。お母の勤めていた西灘小学校の皆さん  
 叔母の幼稚園あまた幼稚園の皆さん お世話になつた菓師通  
 リの甲田先生、今どうしておられますか。五十年も昔にわたつた一年  
 余りを過した街だけおど、神戸はあつかしい想ひ出の街なのひす  
 三十年に帰郷してから一度だけ 十五年後に兵庫に嫁つた主人  
 の嫁の婚礼のあと、主人とその兄弟達と一語に長峰山と五毛の  
 叔母のところまで一泊させてもらつて京都の主人の妹のところへ行った事  
 があります。田舎育ちの私をやさしく迎えてくれた街もあり  
 ました。今は叔母達も神戸をはなれ、叔父も神戸を育ちつれ  
 ありと失くして 私の知らない街に息子一家と暮らしているだけに  
 あります。お世話になつた皆さんをうながつたあつかしい神戸を幸せいと  
 祈つてます。父も主人も他界して一人となつた私、いつまでも 弟三の故郷  
 神戸を幸せいと祈つてます。